



No. 24 2004年12月10日

国立天文台VERA観測所発行
<http://veraserver.mtk.nao.ac.jp>

AOCからの自動運用始まる

VERAの4つの観測局をAOC (Array Operation Center、水沢に設置) からネットワーク経由で遠隔操作する「網運用ソフト」の運用試験が完了し、2004年10月よりAOCからの遠隔運用が始まりました。網運用ソフトでは、各局を観測スケジュールに従って自動運転する機能に加え、各局ステータスのリアルタイム取得や、トラブル時の装置のイニシャライズなど、観測局の遠隔運用に必要な機能が揃っています。これまでは各局に職員が滞在して観測運用を行っていましたが、AOCからの遠隔運用が始まったことにより、各局とも現地雇用の運用支援員が日中にテープ交換等を行うだけで定常運用ができる体制が整い、観測に必要な労力が大幅に削減されています。



国立天文台水沢に設置されたAOCでの運用の様子。4台のPCからインターネット経由でそれぞれの局を操作できる。また、中央のPC画面(黒)では各局の様子がカメラで表示されている。